

授業科目名	演習所得税法Ⅰ		科目コード	342		
開講クラス	総合ビジネス科	コース	会計実務コース	学 年	1 年	
担当教員	山下 貴光					
	実務経験教員 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ 無) 実務経験内容 企業(経理業務)勤務					
開講時期 1コマ90分	<input checked="" type="radio"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他			授業コマ数	32 コマ	
	<input checked="" type="radio"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須			時 間 数	64 時間	
使 用 テキスト1	書 名	所得税法入門				
	著 者	TAC(株)				
	出版社	TAC(株)				
使 用 テキスト2	書 名					
	著 者					
	出版社					
参考図書						
授業形態	<input checked="" type="radio"/> 講義 ・ <input checked="" type="radio"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()					
<授業の目的・目標> 全国経理教育協会主催所得税法3級取得に向けての実践問題に取り組む。						
<授業の概要・授業方針> 所得税とは何か？ 所得税の計算の基礎や基本を学習して、個人の課税所得を計算して納税額を算出できるようになる。						
<成績基準・評価基準> 学内試験 取得検定						
<使用問題集・注意事項> 過去問題集						
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>						

授業科目名		演習所得税法Ⅰ
回	授業内容	備考
1	所得税とは	
2	所得税の計算体系	
3	利子所得の意義・金額	
4	不動産所得の意義・金額	
5	事業所得の意義・金額	
6	給与所得の意義・金額	
7	退職所得の意義・金額	
8	山林所得の意義・金額	
9	譲渡所得の意義・金額	
10	一時所得の意義・金額	
11	雑所得の意義・金額	
12	非課税所得の趣旨及び取り扱い	
13	非課税所得の範囲	
14	源泉徴収制度の意義	
15	利子所得に係る徴収税額及び計算方法	
16	配当所得に係る徴収税額及び計算方法の原則規定	
17	給与所得に係る徴収税額及び計算方法	
18	課税標準額の意義	
19	課税標準額の計算方法	
20	所得控除額の意義及び種類	
21	各所得控除の内容①（医療費・社保・生保・地震）	
22	各所得控除の内容②（障害・配偶者・扶養・基礎）	
23	課税所得金額の意義及び計算方法	
24	算出税額	
25	納付税額の計算	
26	青色申告税度	
27	理論のまとめ	
28	計算演習	
29	模擬問題1	
30	模擬問題2	
31	過去問題1	
32	過去問題2	